

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
301	生活保護世帯扶助等経費	01	一般会計	03	民生費	
基本施策	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	項	01	社会福祉費	
			目	02	民生事業活動費	
担当部課名	青山支所 健康福祉課		細目	101	民生事業活動経費	
作成者氏名	奥田 充法	連絡先	52-3228	細々目	02	生活保護世帯扶助等経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	市民並びに伊賀市を通過する途上の旅行者	運賃又は食費等を所持せずかつ換金する物品がないなど旅行ができがたい者へ扶助を行う。					
本年度事業内容	浮浪者移費として扶助した						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市市路行人旅費等保護費支給事務取扱要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	31	85
	委託料		
	扶助費	31	62
	その他		23
合計(A+B)	751	805	810
③財源内訳(千円)	特定財源		
	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
一般財源	751	805	810
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
浮浪者移送費支給者	人	45	80	85			

情勢の変化及び事業の改善点等

青山支所管内は、近鉄大阪線の青山町駅を降車し伊賀市を通過する途上の旅行者として、申請のため来庁し手続きしているが、申請人のうち数人は以前申請者とよく似た方が今回の申請であったと宿日直者で処理した嘱託職員の話聞く場合もあり、この要綱の検討が必要である。取り扱い要綱に基づき、市に対して旅費等の支給求めたものに対し給付しているが、そのほとんどが勤務時間外の対応で、事務手続きについても、宿・日直者に依頼しているが、この給付申請について過去に申請したものが再度申請を行っている等のケースもあり今後検討が必要である。

評価	達成度	2	青山支所管内は、近鉄大阪線の青山町駅を降車し伊賀市を通過する途上の旅行者として申請件数も多く、鉄道や軽食必要とする者に対し支給しているが、中には常習的に請求を行等々のケースを見受けられるが、本当に旅行等ができ難い者にとっては、人道上からも大切な制度である。
	効率性	4	